



## Contents

- 1 学長年頭所感
- 2 歯学部 交換研修プログラム
- 3 HT学部 社長講座
- 4 浦安環境共生都市構想 不動産学部の専門性を発揮
- 5 不動産管理演習 アパート空室の改善策提案へ
- 6 就職戦線を乗り切れ!
- 7 明海スポーツ
- 8 浦安キャンパス第24回明海祭



安井利一学長

2012年の新年を迎えました。明海大学を支援してくださる多くの皆さまに謹んで新年のごあいさつを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### この時代を乗り切る

さて、昨年は未曾有の被害をもたらした東日本大震災があり、本学浦安キャンパスも液状化現象で大切な校地に被害が及び、学位記授与式も中止せざるを得ませんでした。しかし速やかに復旧を図り、入学式を予定どおり挙行し、現在は学生が元気に学問に励んでおります。また、このような災害の時こそ大学の社会性を発揮すべきであると考え、歯学部

### 学長年頭所感

## 「明海大学だからこそできること」

においては身元確認や医療支援を行い、浦安においても経済復興シンポジウムや新しい浦安市創造プロジェクトをリードするなど、多様な支援活動を行いました。現在もなお、原発問題や世界的な経済不安など多くの課題がありますが、本学の建学の精神にある「社会性、創造性、合理性」の具現化こそが、このような時代を乗り切る要素であると確信しております。社会がどのように変化しても、未来からどのような挑戦を受けても、自らを見失うことなく前進していくことが肝要であることは言うまでもありません。

### 「明海の人間力」

大学の教育として、歯学部においては、新しい歯科界を支えていく優秀な高度専門職としての歯科医師を養成すべく、本学が実施している歯科医師生涯研修制度を一層充実させ、卒業前教育から卒業後の生涯教育への一貫性を保ちつつ世界的視野での展開を図ります。

また、浦安キャンパスの外国語学部、経済学部、不動産学部そしてホスピタリティ・ツーリズム学部においては、「明海の人間力」の育成を

目指して一昨年からスタートした新しいカリキュラムの充実に一層の努力を払います。

浦安キャンパスの基礎教育である「学修の基礎」と就業力教育である「キャリアプランニング」、教養教育である「人間力形成科目」、そして「専門基礎科目」の履修、さらには正課外の活動としてのボランティア活動やインターンシップ、そして本学ならではの海外研修をラーニング・プロセスとして、学生一人ひとりの力をはぐくむ愛情を持った教育を行います。

社会貢献活動として、医療においては歯学部付属病院やPDIでの患者満足度の向上を図り、浦安キャンパスにおいては震災後の復旧から発展へと全国のモデルとなるような支援貢献をいたします。

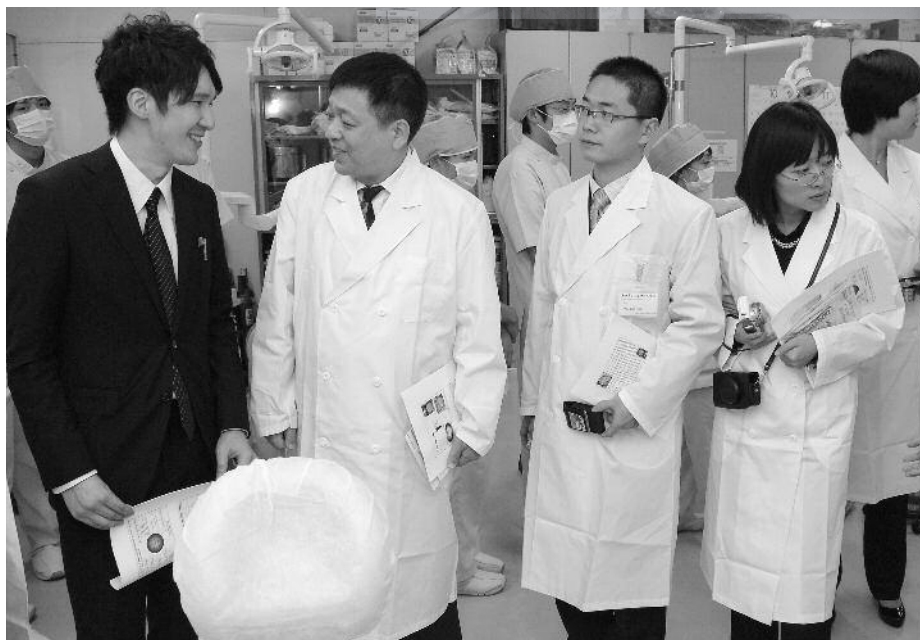
### 社会に貢献できる人材を

今年も明海大学は社会から見える大学づくりを志向し、社会に貢献できる人材育成教育を実践します。

「明海大学だからこそできること」を合言葉に教職員、学生、全員の力を結集するとともに、一人ひとりが素晴らしい年になるよう努力します。

歯学部  
交換研修プログラム

# 第四軍医大学の歯学部生を受け入れ



施設を見学する研修生ら

本学歯学部は、海外の各国姉妹校から交換研修生の受け入れを積極的に行っており、10月には、第四軍医大学の教員2人と学生5人が来日し、本学での研修に参加した。

今年の夏に第四軍医大学の海外研修に参加した本学の学生らが中心となり世話役を務め、交換研修生らは本学歯学部の教育・研究についての講義を受講。さらに、付属病院などの施設を見学した。

研修に参加した学生からは本学の最先端の施設・設備などに驚きの声が多く聞かれた。

## 日本語学科講演会 金田一秀穂氏が講演

国語学者として著名な金田一秀穂氏の講演会が11月8日、日本語学科の主催により行われた。会場には多くの学生が詰め掛け、金田一氏と親交のある安井利一学長も駆けつけた。

金田一氏は中国大連言語学院、コロンビア大学などで外国人に日本語を教えるなど国語学・日本語学の分野で華々しい経歴を持つ。

また、独特のユーモラスな語り口調が人気となり、数多くのテレビ番組にも出演。現在は杏林大学外国語学部教授として教鞭をとっている。

講義では、子どもの独り言が人の心理を考えるのに最適な研究素材であることや、同じ曲・歌詞でも素人の声で聴くと感動できないのはなぜかなどについて説明。

学生に「言語はコミュニケーションのためだけの道具ではなく、



金田一氏のユーモア溢れる講演

とても曖昧な部分を含むもの。デジタル社会の中でもその曖昧さを忘れないでほしい」とメッセージを送った。

金田一氏の実例を交えた軽快な話に会場は終始笑いに包まれ、参加した学生は「金田一先生の気さくな話し方に、『相手によって伝え方を変える』ことの大切さを感じた」と語った。

## 田草川助教が 学会賞を受賞

歯学部の田草川徹助教(病態診断治療学講座口腔顎顔面外科学分野1)が、12月2日と3日に千葉県の幕張メッセで開催された日本顎顔面インプラント学会総会で学会賞を受賞した。田草川助教は同学会誌に掲載された論文が高く評価され、今回の受賞となった。論文タイトルは「ビーグル犬下顎骨における垂直的歯槽骨延長術の実験的研究」。

田草川助教は「今後も多方面の学会で活躍できるよう研鑽を積み、まい進してまいります」と喜びを語った。



田草川助教

ホスピタリティ・ツーリズム学部  
**社長講座**

# JAL・ANAグループのトップを招聘

ホテルやエアライン業界に高い就職実績を誇るホスピタリティ・ツーリズム（以下、HT）学部の授業科目「特別講義Ⅱ（通称：社長講座）」では、HT業界を代表する企業の社長や会長を招き、オムニバス形式で業界の動向や仕事に対する心構えなどを学ぶ。11月は航空業界を牽引する2社から、10日に全日本空輸（株）執行役員成田空港支店長兼ANAエアサービス東京社長の江塚春夫氏、24日に日本航空（株）（以下、JAL）社長の西賢氏を招き、講義が行われた。

今年度、HT学部からも内定者を輩出しているANAエアサービス東京の江塚社長は、ANAグループの概要や今後の展望について触れ、「今、アジアは世界で最も成長率の高い地域として発展している。そのアジアを代表するエアラ

インになるという経営ビジョンのもと、現場のスタッフをプロ集団に育て上げ、お客さまに安全で高品質な空の旅を提供すべく努めていく」と力強く語った。

JALの大西社長の講義で

は、HT業界への就職を目指す学生らにホスピタリティ・マインド（おもてなしの心）について説明。「お客さまのフライトが快適なものであるように万全の準備でお迎える。さりげなく相手への配慮を示し、一人ひとりのお客さまを想うことが、JALのホスピタリティ・マインド」と



学生に力強いメッセージを送る大西社長



江塚社長(左)と内定者のHT学部藤原俊也さん

語り、日本を代表するエアライン業界トップの言葉に、学生らは真剣な表情で聞き入っていた。

今後は1月12日に（株）ジェイティービー社長の田川博己氏（HT学部客員教授）を招いて講義が行われる。

ホスピタリティ・ツーリズム学部

## ヘルスツーリズムを企画

NPO法人日本ヘルスツーリズム振興機構主催の第29回ヘルスツーリズムセミナーが11月29日に開催され、本学からはホスピタリティ・ツーリズム（以下、HT）学部の関千里講師とゼミ生が参加。観光マップを作成し、各地域の見どころを紹介しながらウォーキングをメインとするヘルスツーリズムの企画をプレゼンテーションした。

ヘルスツーリズムとは健康増進などを目的とした観光のことで、HT学部では2009年度から同団体とアカデミックパートナーとして、共にヘルスツーリズムの研究を行っている。

今回の企画発表は昨年へ続き2年連続。立案にあたり、学生は候補地の選定や佐原（千葉県）、相模原（神奈川県）、多摩地域（東京都）での現地調査等を行った。自分たちで歩き、得た情報を満載に盛り込んだ観光マップは、留学生の王ショウさん（HT学科3年）の協力により中

国語版も作成された。

ゼミ長の前田哲平さん（HT学科3年）は、「既存のツアーとの違いを打ち出すため、現地調査や資料収



発表を終えた関ゼミ生ら

集等、ゼミのメンバーで協力しながら作業を進めてきた」と語り、学修

の成果を生かす機会に確かな手ごたえを感じたようだった。

## 浦安環境共生都市構想

## 不動産学部専門性を発揮

日本で唯一の不動産学部を擁している本学は、環境に優しい街づくりを浦安市で進めるために、浦安市および生活サービス分野をリードする9社と11月25日にコンソーシアムを立ち上げた。本学をはじめ、各企業の持つノウハウや先端技術などを生かし、浦安市と共に新しい街づくりのモデルをつくりあげる。利用者に優しい生活サービスの導入も視野に入れた地域一体型の持続可能な街づくりの実現を産官学が一体となって取り組んでいく。

発起人の中心である不動産学部の中城康彦教授に話を聞いた。



中城教授



環境共生都市として発展が期待される新浦安地区

まず、次年度には浦安市の「環境未来都市」の申請も視野に入れ、単にブランドを回復するだけではなく、災害にも強く、震災前よりも価値の高い、住み良い街づくりを検討します。松崎秀樹浦安市長が「日本の浦安」から「世界の浦安」へと発展させたい」と記者会見で熱く語ったように、世界屈指の環境共生都市を目指します。

### 明海大学の役割と今後について。

「事業スキーム検討」「適用技術・サービス検討」「中長期施策検討」の三つの分科会で、本学はその事務全般を担うことになります。これだけの事業ですから、これを支えるマンパワー体制の整備やさまざまな分野における幅広い知識の結集が必要となります。そのためにも、この事業を全学部・研究科が一体となり、大学全体で取り組んでいきたいと思っています。

### 組織発足の背景、経緯からお聞かせください。

構想自体は震災前の2010年秋からありました。政府は2010年6月に再生可能エネルギーを導入する地域などを「環境未来都市」に指定し、後押しをする方針を打ち出しました。このことを踏まえて、新浦安地区の持つ高いポテンシャルを生かし、「環境」をキーワードとした都市構想を不動産研究センターから浦安市に提案しました。具体的に検討を進める直前で東日本大震災により一時中断となりましたが、このたび、液状化被害の復興モデルも視野に入れて再出発となりました。

### この事業には多くの民間企業も参加していますね。

震災でダメージを受けた浦安市

に少しでも貢献をしたいという住宅メーカーをはじめとする民間企業が、本学や企業同士のつながりを通じて集まりました。立場として競合する企業もありますが、今回の事業を「競争を超えた協力・連携事業」として取り組み、それぞれの企業の強みを発揮することで、今までにない新しい復興モデルができると思います。

### 具体的な取り組みについて教えてください。

産官学の共同事業体であるコンソーシアムは三つの分科会で組成され、今年度末に計画の方向性を打ち出し



記者会見の様子

## 不動産管理演習 アパート空室の改善策提案へ

不動産学部授業科目「不動産管理演習」では、11月14日に浦安市富士見にある空きアパートや東京都葛西にあるマンションの現地調査を実施。これはアパート空室のリノベーションプランを企画すること等を目的とし、千葉県宅地建物取引業協会市川支部の協力により実現した。

現地では、本演習担当の不動産学部齊藤広子教授、実務家で(株)ブルースタジオの大島芳彦氏、(株)スペース・ユニオンの藤木亮介氏が学生にプロの目線で現状を解説。「なぜ物件に空きがあるのかといった分析から始まり、居住者ニーズの調査、家賃設定、収支計算、プレゼンテーションまで総合的な力が求められる」

と説明した。学生からは、「座学ではなく、実際に空きアパートなどを見ながらの演習はイメージが湧きやすい。時代に合った住宅の設備や機能を考え企画書を作成したい」などの感想があった。

今回の演習に協力してくれた管理会社やオーナーからは「学生からの良いプランがあれば実際に採用し



空きアパートを調査する学生  
「空室を調査したい」という声もあった。学生たちは、リノベーションプランと長期修繕計画の策定に着手し、半年間の演習成果をまとめる予定だ。

## 不動産学部の本間講師が奨励賞を受賞

不動産学部の本間勝講師が、10月29日に盛岡市で開催された日本土地環境学会定期大会学会賞授賞式で奨励賞を受賞した。学術論文「土壌汚染の説明責任とその物理的範囲の法的考察」が、土地環境学の発展に貢献する独創的な研究と高く評価され今回の受賞となった。

本間講師は、「大学院時代より継続して土地環境政策の研究を行い、その成果が認められたことについて大変嬉しく思っています。今後も震災対応を含め不動産学の研究に寄与できればと思います」と受賞の喜びを語った。



研究が高く評価された本間講師

## 資格☆はばたく



## 不動産学部の中城教授らがテレビ出演

### NHK Eテレ (教育テレビ)

毎週水曜深夜に放映されているNHKのEテレ (教育テレビ)「資格☆はばたく」に不動産学部教員や学生が出演します。1月から約1カ月間にわたり「宅地建物取引主任者～宅建主任者は幸せの契約書を作るプロ～」の企画で、全4回にわたり中城康彦教授が講師として出演します。

■放送日時 ※全て水曜深夜24時から24時25分まで

- 第1回 1/4 「宅建主任者ってどんな仕事？」
- 第2回 1/11 「どんな試験をどんな人が受けるの？」
- 第3回 1/18 「どんな勉強をすれば合格できるの？」
- 第4回 1/25 「総まとめ ガチンコ模擬試験」

### NHKテレビテキスト1月号

NHKテレビテキスト1月号「資格☆はばたく 宅地建物取引主任者」では、試験範囲の解説に加えて宅建取得のポイントを詳しく紹介。さらに、合格へ向けた本学不動産学部の取り組みや加賀優二特任教授、宅建取得者の佐野圭胤さん(不動産学科4年)のインタビューも紹介されています。

## 就職戦線を乗り切れ! 学科独自の就職サポート特集

就職活動のスタートが今年度から例年より2カ月遅い12月スタートとなり、学生は就職活動の短期決戦を迫られている。本学では早い段階から就業意識や職業観を養い、就職戦線の波に乗れるよう、卒業後の進路を見据えたキャリア教育を推進。今回は11月に行われた英米語学科と不動産学科の就職サポートを紹介する。

### 【英米語学科】出張就職講座

英米語学科3年生を対象とした出張就職講座が11月に5回にわたって実施された。同講座では卒業生による就職活動のアドバイスや、就職支援担当職員による現在の就職環境に関する説明などを行っている。講座には日本航空(株)で国際線のCAとして活躍中の池内怜香さん(09年卒)や(株)JALスカ



後輩へ力強いアドバイスを送る竹内さん

イでグランドスタッフとして活躍中の竹内由梨さん(09年卒)ら卒業生と、今年度厳しい就職戦線を乗り切り内定を獲得した同学科の4年生らを招き、就職活動へのアドバイスなどが語られた。竹内さんは「海外研修やアルバイトなど、自分の頑張ったことを何か一つ見つけて、自信を持って就活に挑んでほしい」とエールを送った。

### 【不動産学科】不動産キャリアデザイン

不動産業界の第一線で活躍している企業人を講師として招いた講演が、授業科目「不動産キャリアデザイン」において行われた。11月24日に東京急行電鉄(株)渋谷開発事業部統括部長の岩井卓也氏、



講演をするエイブル平田社長

12月1日に(株)エイブル代表取締役社長の平田竜史氏を招き、業界の動向や求める人材についての説明があった。平田社長は「不動産業界において宅建の資格は必須。在学中の資格取得を目指し、志望する企業への就職につなげてほしい」と資格取得の重要性について力強く語った。

### 経済学部キャリア講座

## 地元活性化に貢献

経済学部の授業科目「キャリア講座Ⅳ」では、地域での活動を通じて社会に貢献できる人材の育成などを目的に、11月3日に浦安駅北口に開かれた「せせらぎ市」に「明海SHOP」を出店。当日は、天候にも恵まれ、子どもからお年寄りまで多くの市民がせせらぎ市を訪れた。

せせらぎ市とは朝市により地元浦安の活性化を目的とする祭りで、千葉県産の食材や浦安の名産品などを販売する約15店舗が軒を連ねる。出店前に行われた授業では、

今回の販売品をジュースなどの飲料品と決定し、価格設定や会計、販売などの役割分担を決め、一致団結して準備に取り組んだ。出店当日、本学の「明海SHOP」は学生らしい明るく元気な呼び込みで、午後には再度仕入れを行うほどの盛況ぶりだった。



盛況だった「明海SHOP」

# 明海スポーツ MEIKAI SPORTS

## 活躍の舞台を広げる選手たち

体育会公式ホームページ <http://meikai-sports.jp>

### 体育会ヨット部

#### 470級女子ペアが世界選手権へ

波田地由佳（経済学科2年）と又村彩（英米語学科1年）ペアが、1月26日からニュージーランド・タカプナで開催される470級ジュニア世界選手権大会の日本代表選手に選出された。

同ペアは先立って開催された江ノ島オリンピックウィーク2011で、選考対象女子ペアの中で1位を獲得し

たことで財団法人日本セーリング連盟から派遣依頼を受けた。同連盟はロンドンで開催される次期オリンピックも視野に入れ、次世代を担うジュニア・ユースとして22歳以下の選手育成に力を入れている。

國府田由隆監督は「世界選手権だからといってプレッシャーを感じずに、まずはレースを楽しむこと。そのうえで、全力を出し切ってほしい」と語った。

### 体育会サッカー部

#### JFL強豪チームへ入団

体育会サッカー部の主将を務める中村竜也選手（経済学科4年）が、卒業後に「SAGAWA SHIGA FC」に入団することが決定した。中村選手は2008年に本学体育会サッカー部に入部し、MFとして2年生からレギュラーで活躍。4年生からは主将としてチーム全体を牽引してきた。

その中村選手が入団する「SAGAWA SHIGA FC」は、日本フットボールリーグ（通称、JFL）に所属する強豪チーム。2007年、前身である佐川急便SC時代にリーグ優勝を達成し、翌年、現在のチーム名に改称した。その後も2009年、2011年とリーグ優勝を成し遂げ、同リーグの中で安定した強さを誇っている。

新しい門出に、八津川義廣監督は「彼はまだまだ成長する余地がある。新しい環境でさらにステップアップし、後輩たちの目標となるような選手になってほしい」とエールを送った。



波田地選手



又村選手



中村選手

### 歯学部 課外活動紹介③

講義や実習に集中する毎日の中で、精力的に活動している歯学部のクラブやサークルを紹介する。シリーズ3回目は抜群のチームワークで今年度の歯学体で優勝を果たしたサッカー部。主将を務める木村亮太選手（5年）に話を聞いた。

現在、部員32名（うちマネージャー6名）で、春夏は月・水・金曜日の週3回、秋冬は月・水曜日の週2回練習をしています。また、それ以外にも春夏シーズンは毎週のように練習試合を組んだり、夏合宿を行うなど、春のリーグ戦、夏の全日本歯科学学生総合体育大会（以下、歯学体）に向けてチーム全員で厳しく、楽しくトレーニングしています。

チームの特徴であり最大の武器は、抜群のチームワークです。サッカー経験者が多いというわけではないので、“個”の力よりも“集団”の力で勝つスタイルを確立し、チーム全員の結束力、勝負に対する高い意識をもつように心がけています。その努力が、今年度の歯学体優勝という結果につながりました。次の目標である歯学体連覇に向けて、チーム一丸となって練習に励みます。（木村主将談）

### サッカー部



歯学体優勝を喜ぶメンバーたち

## 浦安キャンパス第24回明海祭 大きな空を笑顔で彩った3日間

浦安キャンパス第24回明海祭（学園祭）が11月4日から6日にかけて開催され、多くの学生や地域住民らで賑わった。今回のテーマは『空』。このテーマには「どこまでも続く同じ空の下で明海祭に来場したすべての人とつながり、学園祭をみんながそれぞれの色で染めて明海祭という大きな空をつくりあげたい」という願いが込められている。

本部企画では人気音楽アーティスト「ナオト・インティライミ」のライブ、放送作家「鈴木おさむ」の講演会、人気お笑いコンビ「ピース」らによるお笑いライブや豪華な景品が当たるビンゴ大会、毎年子どもたちに人気の1日体験教室などが行われ、連日学生や地域住民で大きな盛り上がりを見せた。中でも牛乳パックを使って鉛筆立てを作る1日体験教室では、子どもたちだけでなく保護者も一緒になって参加し、学生と楽しそうに交流する姿が見られた。また、メイン

ステージでは吹奏楽部やチアリーディング部、ダンスサークルによるパフォーマンスが披露され、会場を大いに沸かせた。

学園祭実行委員長の吉田翔美さん（経済学科3年）は、「約半年間かけて創りあげた明海祭という『空』。私の想像をはるかに超える大きな空となってくれました。地域の皆さまや教職員の方々のご参加やご協力に対して、感謝の気持ちでいっぱいです」と語った。

チアリーディング部による  
圧巻のパフォーマンス



### 日本語発表交流会



「シンデレラ」のワンシーン

本学に在籍する外国人留学生の学修成果を発表する機会として、日本語学科主催の日本語発表交流会が11月22日に開催され、大勢の学生や教職員が会場に詰めかけた。

交流会では、特別聴講生による「韓国の早口言葉」、別科日本語研修課程の学生による「地震のあと、私たちにできること」、I E S 特別聴講生によ

る「シンデレラ」を発表。流ちょうな日本語での演技が披露され、会場は大きな拍手に包まれた。終了後には、日本人学生との交流が図られ、記念撮影をする様子が見られるなど、発表会は盛況のうちに幕を閉じた。

シンデレラ役を務めたアビー・グリーンさんは「日本語での演技はとても緊張したが、終わった後に日本人の友人が褒めてくれて、とても嬉しかった」と笑顔で語った。

#### 浦安キャンパス 外国語(日本語・英語・中国語学科)/経済/不動産/ホスピタリティ・ツーリズム学部

##### 一般入試 (A方式)

出願期間 1/10(火)～1/23(月)

試験日 2/ 1(水)・2(木)・3(金)

※試験日自由選択制 ※2/1、2のみ地方会場でも実施

##### 大学入試センター試験利用入試 (A方式)

出願期間 1/10(火)～1/23(月)

※本学での個別学力審査はありません。

※このほか、一般入試B方式、大学入試センター試験利用入試B・C方式も実施します。また、入試の成績優秀者に対する奨学金制度(初年度授業料全額又は半額免除)があります。

#### 坂戸キャンパス 歯学部

##### 一般入試 (A日程)

出願期間 1/10(火)～1/24(火)

試験日 1/31(火)

##### 大学入試センター試験利用入試 (A日程)

出願期間 1/10(火)～1/24(火)

面接日 1/31(火)

※このほか、一般入試B日程、大学入試センター試験利用入試B日程も実施します。